

久米良作 くみ きよさく 實業家、俳人。慶應四年七月武藏國生れ、昭和九年二月九日歿（二八六一―一九三三）。幼名松太郎。俳號自樂園祿翁。明治二十年東京法學院英語法律科卒。大正十年久米同族株式會社を設立、また東京瓦斯株式會社、帝國火藥工業株式會社等の社長となり、財界に重きを爲した。

一方内藤鳴雪、高濱虛子、涼石鼎を招いて自樂園會を催し、爾後も村上鬼城、渡邊水巴、長谷川零餘子等を加へて盛大な句會を開くはじました。十二年石鼎門に入り、その主宰誌『鹿火屋』に投吟、『祿翁句集』(石鼎選、昭和九年九月十六日石鼎序、無刊記)を遺した。

